

建設産業委員会会議録

平成 26 年 3 月 5 日 (水)

午前 11 時 34 分 開会

○小出義一委員長

建設産業委員会を開催します。最初に今日お集まりいただいた趣旨ですけれども昨日の委員会の中で私が不適切な発言をしましたのでお詫びしたいと思います。

内容としまして、新美委員が一足飛びにしているというご指摘をいただいたことについて、私が、「ご一任いただいたとは思いませんが」という風に発言しております。この点については発言者の真意に対し真摯に受け止めた発言ではないと思っておりますので、このことについてお詫び申し上げます。どうぞすいませんでした。

【委員長起立して謝罪】

○小出義一委員長

つきましてはこの発言を取り下げたいと思いますがご同意いただきたいと思います。

【「いいと思います」と呼ぶ声あり】

○小出義一委員長

ありがとうございます。「ご一任いただいたとは思いませんが」という発言につきまして削除させていただきます。

少し整理をさせていただきますが、前段のところから、カクサンさんと接触してどうするのかという意図だったと思いますが、その内容の中に街づくり協議会のことも含めた話もしたいと触れておりました。このことについては委員会の中でまだ総意ではなかったと思っております。明日、お会いする訳ですけれども、その前の予定にあった、カクサンさんが8月迄に進めていきたいということについての内容のみについて確認するという、最初みなさんにご同意いただいたことだけを進めていくというようなことで進めたいと思います。その内容につきましてもご同席いただける委員の方もいますので、その内容をご報告を申し上げ、また次の進め方について協議をいただきたいと思います。これにつきましてみなさんのご意見を伺いたいと思います。

○新美保博委員

確認だけします。6日はカクサンさんの8月発言の確認をしにいくだけという理解でいいの。

○小出義一委員長

はい。そうすると委員会として皆さんにご協議いただいてどういうものを作っていくかということとずれてしまうというご指摘だったと思います。どこまで、どんな形でやろうとしているのかを確認してまいりたいと思います。そういう趣旨でお会いすると考えています。

○新美保博委員

では昨日の話はなんだったのか。4人が確認しに行く必要があるのか。

○小出義一委員長

委員会として前段に街づくり協議会をつくっていくというまでのところをご確認いただいたと思いますが、街づくり協議会の組織の中身という議論は次のステップの話で、それに

向けてどうしたらいいかのみなさんのご意見をまとめるということが本来の趣旨でなければいけなかったと思いますが、そのとり回しが悪く、その結論についてはみなさん随分ご議論いただいたにも関わらず、そこに向けての整理が不十分だったと私の反省点です。

○沢田清委員

その話は昨日しっかり話をして終わって、明日カクサンさんと会って、さっき委員長がおっしゃったことは会ってすぐ確認をとってもらって、昨日話あった結果をカクサンさんに話してくるのが明日の会だけれども、そうでなければ行ってもらう必要はないということを、今新美委員がおっしゃったことなんです。なので明日はカクサンさんと会って、みなさんと会って昨日話した内容を伝え、結果をまたこちらに伝えてもらうという作業をしてもらうとクリアできると思います。違っていたらどうぞご指摘ください。

○小出委員長

みなさんもそれでよろしいでしょうか。

○新美保博委員

なんでみなさんの同意を得るのか。みんなはそういうつもりでいるのに、みんなはわかっている。明日はどういう会なのか、何をやるべきなのかわかっている。たまたま2人しか出られないわけで分かっていないのはただ1人。それをみなさんが良ければというが、あなたがどこまで理解して何やるかがわかっているのにやれるわけない。その心配をしている。平場で一遍話をしよう、うちはうちで、有志ででていく。カクサンさんたちはカクサンさんたちで、有志を募って。要は組織をつくるという話は終わったんだ。いずれはあるかもしれないが、その前にどうしたら実現できるかを語る会をつくったらどうかということだったんだ。

それを持っていくために話をしに行くと思ったんだ。こういうとそのとおりです、言う。なぜ自分からそれが言えないのか。理解してないからだろう。今日は昨日のことを撤回するだけで止めておけばよかった。せっかく集めてなんのためにやっているのか。区切りとして謝罪はしなければいけない。撤回はしなければいけないでは子供でないか。その次に何を展開しなければいけないのか未だにわかっている。

○小出義一委員

一足飛びに進めるなというご指摘もありましたので、私だけの意図で進めてはいけないと思い、そういう発言をさせていただきましたが、地元のみなさんと1つになって進めていくにはざっくばらんな場が欲しいと言って見えましたので、そういった協議ができる場をつくっていただけるような機会をつくっていただくようなことをお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。

○新美保博委員

何やるかと言ったときに、なぜそれが言えないのか。でもそれは決定事項ではないと思っている。8月の確認をすること、それから平場の会で、みんなでざっくばらんな話をするのをカクサンさんと話してくるとなぜ言えないのか。それは頭がないからだ。みんなに言われて言っているだけ。その後どうするのか。絵が描けていない。何回言ったらわかるんだ。着地点を見つけなければいけない。言い方はきついかもしれないが、描けてない、思いつい

ていない、考えていない。そんな人は委員長をやれない。この後、数か月委員長としてやるということであれば、委員長もってきてよ。少なくとも大方のメンバーは落ち着き先がどういう風であるか決めているよ。腹くくっています。何がでてくるかわからないでしょう。

○小出義一委員長

みなさんと十分なコミュニケーションがとれていないと感じており、みなさんがお考えになって見えることは推察できていない部分があります。

○新美保博委員

コミュニケーションがとれておらず、相手の考えがわからないのはいい。自分が何をしたいのかわかっていないでしょう。

○小出義一委員長

昨日も言っていました。街づくり協議会のようなものが立ち上がっていくための前段として必要なことを整理していきたいと思います。その為には街づくり協議会が必要だという結論をつけた場合には、確実にそういうものが立ち上がっていくかということとそれまでに弊害といますか、一足飛びに行くようなことはないと思いますので状況整備をしていくのが前段階の仕事で委員会としてまとめていくべき方向なのかなと思います。

○新美保博委員

それは解決した話だと思っているよ。その為に何をやらなければいけないのか。協議会を作ればいいとおもっているのはあなただけです。必要とあれば作らなければいけないとは思っているが協議会ありきとは誰も思っていない。もともと協議会を作る為の建設産業委員会ではないということを確認した。上っ面で1年間やりました。協議会を作りました。これで終わりではない。それは今までの行政のやり方がそうだったから、それは違うぞと。身にもならないことをこの委員会ではやっていない。何らかの実現が可能な提言をしたいということからスタートしている。そこが全然理解してない。外面が良くそれで済んでしまうような運営では今年の建設産業委員会はとてもやっていけない。

○小出義一委員長

まず地元と合わせて協議をしていくことが必要だと認識をしている訳ですけれども。地元の実情についても、懇談会を開いて人集めをしていただいています。実際動いていく段階で、いろんなことに声を掛けてと言っていますが、それがどのようにして実現していくのか。そういう実態も委員会としては十分把握していませんし、相手もあってのはなしだと思いますので、そういう状況も整理しながら何をすべきかを一つ一つ解決していく必要があろうかと思えます。まずは実情をしっかり把握していき、その中で方向性を見出していく。その手段としてはみなさんがおっしゃっている本音を語る場が必要というのも理解しています。

○沢田清委員

場づくりが必要と今言いましたが、場を作っていくことを今年やろうと言い、街を作っていくのに何が足りなかったのかを考え出し、これを進めていこうと。これが一番画期的なことなんだよとなる為の準備段階を建設産業委員会と三位一体でやっていこうねというのが今回の建設産業委員会。その集大成が協議会になるのかもしれない。ということをお話してみえるのだったら、それを一つずつ追っていくだけの話。本音で語り合う会が最初でしょう。

その先何を考えているんだということに対して、何か形をつけて物を言わなければいけないかなと考えているので変な風になってしまうのであって、素直にその度に出てきた話を次に進めるだけですよというのが答えでないのかと思います。委員長の頭にはあると思いますが、難しく考えてしまっていて、階段を組み立てていくだけです。

○小出義一委員長

そういう姿勢で今後進めていきたいと思います。そういう方向だということが今年度の委員会の方向性を作ったということしかできないかもしれませんが、できるだけ足がかりになるようなものを作っていただけだと思います。

○榊原伸行委員

委員長は頭のいい人と認識していますが、大事なところは委員会を開催して、皆さんの意見は一致している。委員長が腹に落ちていない。どうしてこれをやらなければいけないということを把握していない。どこである程度の結論まで持っていかかというのは、例えば委員会報告をしたら終わりという委員長の考えでしたらとてもじゃないと思います。カクサンさんは8月に何らかの答えを出すと言明したのだから、その本心を聞く平場の会で聞けばいい。僕らのスケジュールではなく、向こうのスケジュール、これから話し合っ、それが8月になるのか、7月になるのかわかりませんが、ある程度議会としての目標がある訳ですから、その辺りまでは真剣に、視察も行かず、みなさんからの注目の的の委員会です。現場主義でやっている注目の委員会です。ぼくらは何とかしなければいけないと腹をくくっている。

○小出義一委員長

ありがとうございます。よくわかっていない部分についてはまたご指導お願いいたします。

○中川健一委員

一つ、やり方が稚拙だと僕は思います。今日も必要が無いような会議で、僕も別の用事がありました。昨日も新美委員が指摘されたように、なぜあんな長い時間をかけてと思います。あまりにも進め方が委員長として稚拙ですから、本当にやれるのかという疑問が残ります。少なくとも自分で何が悪かったのかを反省して、悪かったことは詫びていただきたいと思います。

○小出義一委員長

不手際についてお詫びいたします。昨日の段階で合意いただける部分の確認をとらずに閉会してしまったこと申し訳ないと思います。

○沢田清委員

お詫びについては謝るだけです。

○小出義一委員長

中川委員から代表して進め方が悪いと発言がありました。そういう点を踏まえて反省すべき点を振り返りながら前向きに進んでいかなければいけないということですので、お詫びいたします。

どうもすみませんでした。

他に発言しておきたいことなどありましたらお願いします。

○鈴木好美委員

本来なら今の中川委員が言われたこと、昨日の問題時を先に謝罪して始めるべきであって、要は明日、昨日ああいう風になった資料の内容。委員長がずれてはいけないから明日行ける人という形になって2人行くのですが、今新美委員に言われたことや、みんなに言われたことが明確に自分の頭に入っていないと、なんのために明日行くのか。必要性があるものだけなら僕らも行く必要性もないし。そこら辺の考えはどうですか。

○小出義一委員長

今後のコミュニケーションづくりの第一段階でもあると思いますので、一緒に行っていたいで、どんな風にお考えになっているかも確認していただきたいと思います。

○鈴木好美委員

今言ったことをみなさんに諮ってください。

○小出義一委員長

よろしいでしょうか。

○新美保博委員

相手に話を聞きに行くということはこちらも何かを持たないと話にならない。カクサンさん何をしてくれるんですか。と聞きにいくなら誰が言っても一緒でしょうということです。うちの考えを伝えてから話は広がっていく。昨日も言いました。言葉尻をとってなんですけれども斟酌されては困る。あなたの斟酌では困る。

○岩田玲子副委員長

心配されて最初に来てくれるということであるならば、その心配は意味がないのではとおっしゃっているのです。来てもらわなくてもいいのではないのでしょうか。伝えなくてはいけないことは連絡です。

○小出義一委員長

可能であればぜひお願いしたいと思っています。

貴重な時間をかけていただき、大変なご迷惑をお掛けしていることお詫び申し上げます。また、今日もいろいろご意見いただいておりますけど、しっかり抱いて対応していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

以上で今日の臨時の委員会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

閉会 午後0時5分